

平成 26 年 11 月 4 日

土佐経済同友会 御中

平成 26 年度 文部科学省委託事業
「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業」
[環境・エネルギー分野] 産学官連携コンソーシアム
**環境・エネルギー分野「地域版学び直しプログラム」
実証講座実施に関するご協力・ご後援のお願い**

学校法人 小山学園
専門学校東京テクニカルカレッジ
事業責任者 理事 佐々木 章

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度は私どもの取り組みに対しお時間を頂きまして有り難うございます。

さて今般、本学が文部科学省より委託を受けている「成長分野等における中核的専門人材¹養成等の戦略的推進事業」「環境・エネルギー分野における地域版オーダーメイド実証講座」におきまして、貴団体のご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

本事業は、産業としての成長が見込まれる環境・エネルギー分野において、各地域の特性を活かした中核的専門人材を養成しようという試みであり、各地域において当該分野に関する深い見識と問題意識をお持ちの企業や教育機関、行政などのご協力が欠かせません。

つきましては、下記の通りのご協力をお願い致したく、ご協力の程をお願いする次第であります。

ご繁忙の折柄、誠に恐縮ではございますが、何卒お取り計らい下さいよう、お願い申し上げます。

敬具

記

1. お願い事項

下記実証講座実施へのご協力・ご後援をお願い致します。

- (1) 受講対象者：土佐経済同友会会員企業様、高知商工会議所会員企業様、エコピープル 21 会員様（東商主催「環境社会検定（eco 検定）」資格取得者）
- (2) 日程・期間：平成 26 年 12 月 6 日（土）1 日（8 時間）
- (3) 開催場所：学校法人龍馬学園様の学校施設
- (4) 受講料：無料（但し、交通費や宿泊費、食事代等は受講者負担となります）
- (5) 講義内容：「再生可能エネルギー概論【高知版】」※別添講座パンフレット参照
- (6) 協力内容：講座内容に関してのアドバイス、受講生募集協力（広報誌への掲載、パンフレットの配布等²）ならびに実証講座アンケート調査協力等をとおしての本事業への後援

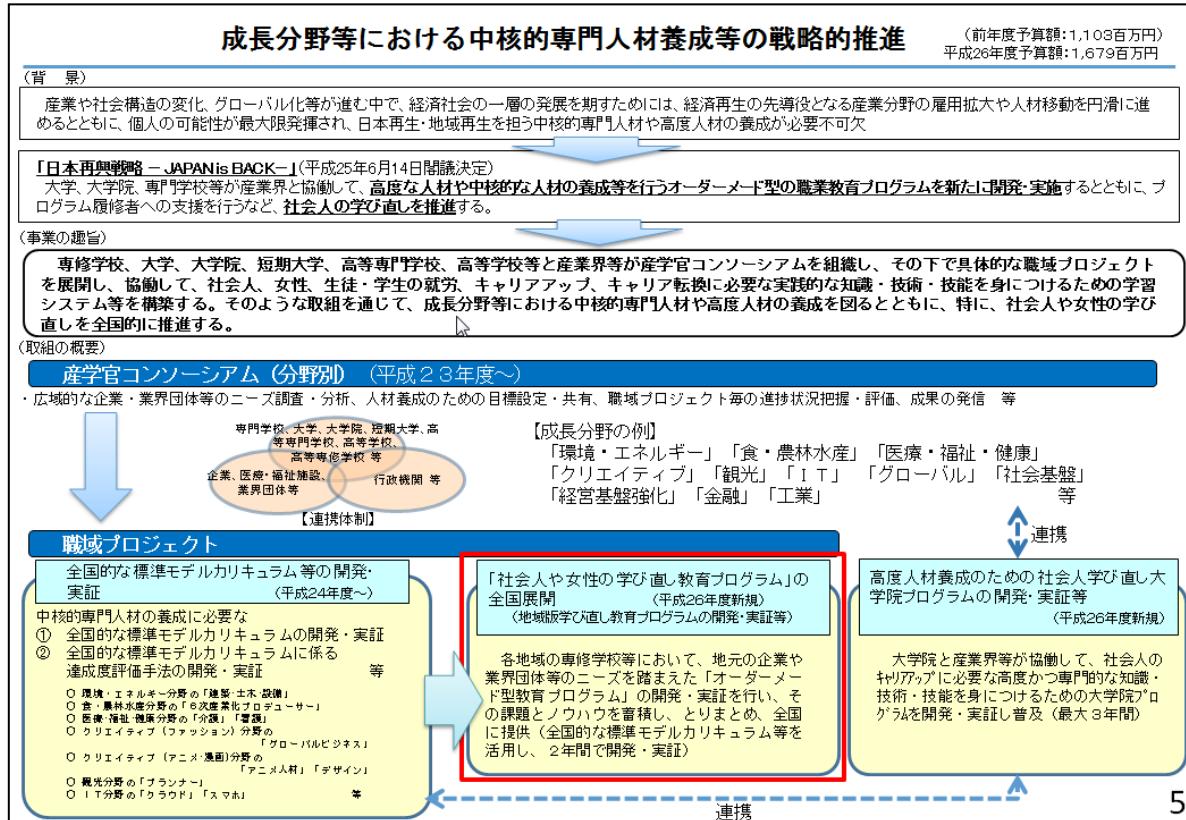
¹ 文部科学省の定義によれば「実践的かつ専門的な知識・技術・技能を身に付け、職業に必要な卓越したまたは熟達した実務能力に基づく業務を遂行し、または、グループや中小規模の組織の中で中核的な役割・機能を果たす厚みのある中間層」のこと。

² 広報誌掲載、パンフレットの配布等に費用が掛かる場合は、その費用も負担させて頂きます。

2. 趣意説明

(1) 文科省事業の概要

現在、文部科学省では、我が国の経済社会を支える中間層の充実を目的として、産官学が一体となつたオーダーメイド型の職業教育プログラムを開発すべく、平成 23 年度より「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業」を推進しています。



文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室編
『平成 26 年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業について』平成 26 年 7 月

Fig.1 文部科学省説明資料

具体的な取り組みとしては、平成 23 年度の「産学官コンソーシアム（分野別）の組織化」に始まり、平成 24 年度からは「全国的な標準モデルカリキュラム等の開発・実証」に取り組むなど、段階を踏んで着実に成果を積み重ねており、平成 26 年度は「社会人や女性の学び直し教育プログラムの全国展開（地域版学び直し教育プログラムの開発・実証等）」に注力することとされています。

この「地域版学び直し教育プログラムの開発・実証」は、平成 25 年度までに開発された全国的な標準モデルカリキュラム等を活用して、各地域の専修学校等において、地元の企業や業界団体等の人材ニーズを踏まえた「オーダーメイド型教育プログラム」の開発・実証を行い、その成果を全国的な標準モデルカリキュラム等にフィードバックするとともに、その課題とノウハウを蓄積し、とりまとめ、全国に提供するというもので。以下の事項が要求されています。

- ① 開発・実証する教育プログラムは、社会人、生徒・学生、育児休業中及び育児休業から復帰直後の女性や子育てのために長期間離職している女性等の就労、キャリアアップ、キャリア

転換に必要な知識・技術・技能等を身につけるためのものとする。

- ② 開発・実証する教育プログラムは、昨年度までに開発された全国的な標準モデルカリキュラム等をカスタマイズした短期のプログラムや各学校の正規 課程に組み込まれたプログラムなど、標準カリキュラムとの具体的な継続性、連携・活用方法が明確に示されたものとする。
- ③ 開発・実証にあたっては、e-ラーニングの活用や男女共同参画センターなどの女性関連施設との連携強化、託児サービスなど、社会人や女性等が学びやすいプログラムや学習環境に配慮する。

(2) 本学の取り組み

一方、本学においては、「環境・エネルギー分野」のコンソーシアム代表校として実施初年度より携わり、様々な調査（H23年度～）や基本的な学習フロー（カリキュラム）の開発、モデル講座の教材開発や実証講座を実施してきました（H24年度～）。また、平成25年度からは、前年度までに構築したモデルカリキュラムをベースとして、企業のニーズに合わせた「オーダーメイド型プログラム」の企画・運営スキームを開発し、複数の企業・団体等で実証実験を行ってきました³。更に、前項で述べた「地域版学び直し教育プログラムの開発・実証」に関しても、複数地域（近畿（兵庫県神戸市）、四国（高知県）、九州（福岡県、大分県））をモデル地域に設定し、それぞれの地域のニーズに合った実証講座を実施することとなりました。

この「地域版学び直し教育プログラムの開発・実証」のモデル都市の選定にあたっては、前年度までの調査実績等から、行政、企業、市民といった各セクターや地域全体において、環境・エネルギーに関する特徴的な取り組みを行っていると思われる都市を設定しましたが、実際の実証講座の設計にあたっては、地域の特性をよく知る団体、すなわち行政や商工会議所等の団体、大学や専門学校といった教育機関との協働が欠かせないと考えております。

以上の様な背景から、貴団体に協力をお願いする次第であります。なにとぞご検討の程をお願い致します。

以上

<事務局・連絡先>

本件に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

〒164-8787 東京都中野区東中野 4-2-3
学校法人小山学園 学園本部企画部内
文部科学省委託事業「環境・エネルギー分野」
事務局担当：高瀬、吉川
TEL：03-3360-8153、FAX：03-3360-8830

³ これらの取り組みとは別に、学内の別組織においては特定の職域に特化した「建築・土木・設備職域プロジェクト（H24年度～）」や「自動車整備職域プロジェクト（H25年度～）」を立ち上げ運営している。